

「バンコマイシンとピペラシリン・タゾバクタム配合剤の併用による急性腎障害と そのリスク因子・リスク回避方法に関する検討」実施に関するお知らせ

国立病院機構本部総合研究センター診療情報分析部では、患者の皆様に提供する医療の質の向上を目的として、国立病院機構臨床研究中央倫理審査委員会の承認のもと、国立病院機構に属する各病院内の電子カルテ等診療情報を活用した分析研究を実施することとなりました。研究の内容は以下のとおりです。

1. 研究の目的と意義

日本人におけるバンコマイシンとピペラシリン・タゾバクタム配合剤の抗菌薬併用投与における急性腎障害の発生状況を明らかにし、腎機能が低下するリスクを減らしたり回避したりする方法を提唱することです。これらの抗菌薬による治療を行う際の方策の検討に貢献できます。

2. 研究の概要

本研究の対象となるのは、2016 年 4 月～2022 年 3 月の間に、国立病院機構のうち診療情報集積基盤（NCDA）を運用する病院に入院し、以下の抗菌薬（バンコマイシン、ピペラシリン・タゾバクタム配合剤、およびその他の抗緑膿菌作用を有する薬剤）による治療を受けられた患者さんです。本研究では、①診療報酬明細書のデータ、②「DPC 導入の影響評価に関する調査」に提出しているデータ、③NCDA により集積された診療情報（年齢、性別、病名、薬の処方、検査結果、バイタルサインなど）を利用させていただきます。本研究は、日常診療から集積された既存の診療情報を二次的に利用するものであり、新たな負担が生じることはございません。

3. 個人情報の保護について

本研究で利用させて頂く個人情報等は、特定の個人を識別することができない状態に加工し厳重に管理・保護いたします。プライバシーに係る個人情報が外部に漏洩することは一切ございません。なお、本研究の成果に関しては、患者・国民の皆様や外部組織への公表、医学的な学会での発表や専門的な雑誌での報告を行うことがあります。集団を記述した数値データとし、患者さん個人が同定されるデータを公表することは一切ございません。

本研究の趣旨をご理解の上、ご協力いただきますようお願い申し上げます。ご自身の情報が本研究に利用されることにご了承いただけない場合、研究計画書及び研究の方法に関する資料の閲覧をご希望される場合、本研究で利用する個人情報の開示等を希望される場合、または本研究についてご質問がある場合は、下記窓口までご連絡ください。これらの場合において、皆様の病院サービスご利用について不利益が生じることは全くございません。

【問い合わせ窓口】

国立病院機構本部 総合研究センター 診療情報分析部 赤木 祐貴（あかぎ ゆうき）

〒152-8621 東京都目黒区東が丘 2-5-21 TEL : 03-5712-5133

【情報管理責任研究機関】国立病院機構本部